

世界標準債券ファンド（1年決算型） ＜愛称 ニューサミット（1年決算型）＞

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2016年7月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「世界標準債券ファンド（1年決算型）」は、2016年7月19日に第2期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2014年6月2日から2029年7月17日までです。
運用方針	主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると思われる国や地域の通貨建てのソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642363>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	騰 落 率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2014年6月2日	10,000	—	—	—	—	20
1期(2015年7月17日)	10,628	0	6.3	0.1	96.7	1,688
2期(2016年7月19日)	8,338	0	△21.5	—	95.7	847

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	騰 落 率	騰 落 率			
(期首)	円	%	%	%	%
2015年7月17日	10,628	—	0.1	96.7	
7月末	10,221	△3.8	0.1	97.2	
8月末	9,704	△8.7	0.1	97.1	
9月末	8,993	△15.4	0.1	97.0	
10月末	9,422	△11.3	0.1	96.9	
11月末	9,644	△9.3	0.1	96.4	
12月末	9,217	△13.3	0.1	96.9	
2016年1月末	8,829	△16.9	0.1	96.7	
2月末	8,658	△18.5	0.1	97.0	
3月末	8,832	△16.9	0.1	100.3	
4月末	8,760	△17.6	—	96.2	
5月末	8,381	△21.1	—	97.0	
6月末	8,036	△24.4	—	97.0	
(期末)					
2016年7月19日	8,338	△21.5	—	95.7	

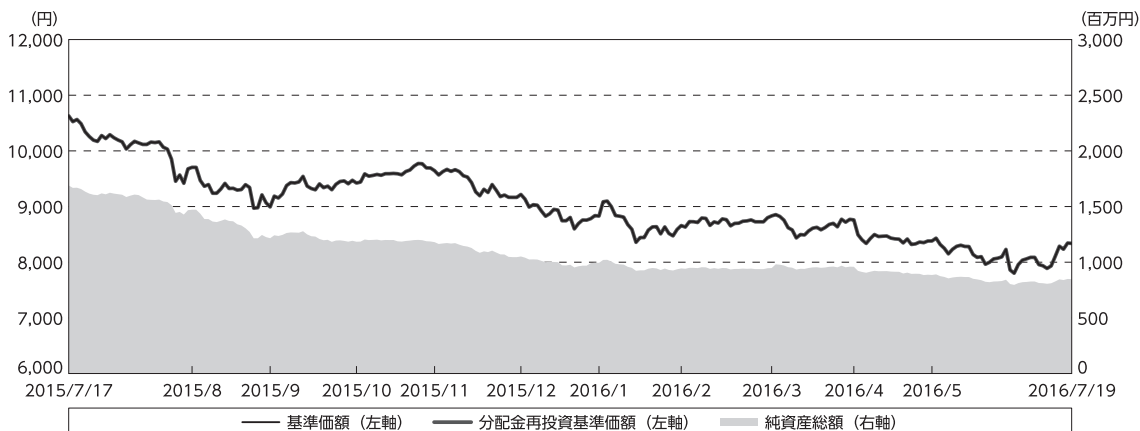
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2015年7月18日～2016年7月19日)

期中の基準価額等の推移



期首：10,628円

期末：8,338円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△21.5%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2015年7月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの金利収入を得たこと。
- ・米国の債券利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

- ・ブラジルの債券利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。（期間前半）
- ・投資対象通貨のアメリカドル、ブラジルレアル、インドネシアルピアおよびメキシコペソが対円で下落したこと。

投資環境

（海外債券市況）

期間の前半の米国債券市場では、米国の市場予想を上回る雇用統計の発表などを受けたF R B（米国連邦準備制度理事会）による2015年中の利上げ観測や、12月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）における利上げの決定などから、米国債券の利回りは上昇しました。一方、原油など資源価格の下落を背景としたインフレ観測の後退や、世界同時株安を受けた投資家による国債など安全資産への逃避需要などから、利回りは低下しました。期間の後半は、原油安の進行や中国の景気減速を示唆する経済指標の発表などを契機とした世界経済の減速懸念や、米国の雇用統計が市場予想を下回ったこと、英国の国民投票により英国のE U（欧州連合）離脱が決定し投資家の安全資産への逃避需要が強まったことから、米国債券の利回りは低下しました。

期間の前半の新興国市場では、米国の利上げ観測による新興国債券の売却懸念が高まったことや、予想外の人民元の切り下げや中国株式の下落などをきっかけに世界同時株安が進行し投資家によるリスク回避姿勢が強まったこと、市場予想を下回る内容となったE C B（欧州中央銀行）による追加の金融緩和策、原油など商品価格の下落傾向による資源国経済の先行き懸念が高まったことなどから、新興国債券の利回りは上昇しました。期間の後半は、日本や欧州におけるマイナスの政策金利などを背景とする相対的に利回りが高い新興国債券に対する投資家による需要の増加や、市場予想を下回る米国経済指標の発表や英国国民投票によるE U離脱の決定を背景にF R Bによる追加利上げ観測が大幅に後退したことなどから、債券利回りは低下しました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.04%で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めから2016年1月中旬にかけては、日銀によるT Bの買入れの継続などを背景に低下する局面もあり、概ね-0.11～0.00%の範囲で推移しました。1月下旬以降は日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて金利低下が進み、-0.28%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

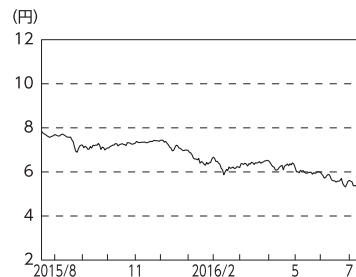
円／アメリカドルの推移



円／インドネシアルピアの推移



円／メキシコペソの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA）

期間の前半は、ブラジルリアル建て、メキシコペソ建て、アメリカドル建ての国債および国際機関債などを組み入れました。期間中、ブラジルが直面している諸問題を踏まえ、アメリカドルの組入比率を引き上げ、ブラジルリアルの組入比率を引き下げました。一方で、メキシコペソについては、引き続き景気回復が加速していることや、同国債券と米国債券の信用スプレッド（利回り格差）が魅力的な水準にあることから、組入比率を高位に維持しました。

期間の後半は、ブラジルリアルの組入れを解消した一方で、インドネシアルピアの組入比率を引き上げました。ブラジルでは、政府が財政目標を諦め、政府債務が目下急速に積み上がっていることを受け、格付会社が同国の格付けを投資不適格級へと引き下げました。また、FRBによる利上げ見通しが後退したと判断し、アメリカドルの組入比率を引き下げ、インドネシアルピアの組入比率を引き上げました。期間末において組入国別債券の内訳は、組入比率の高い順にメキシコ、インドネシア、米国となりました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2015年7月18日～ 2016年7月19日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,574

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

当ファンドでは、経常黒字、証券投資資金の流入、企業の直接投資などによる自国通貨に対して堅調な需要が見込めると考えられる市場や、自国通貨が上昇する見込みがある市場、あるいは自国通貨が安定しており高いインカムゲインが期待できるような市場を引き続き投資対象市場として検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2015年7月18日～2016年7月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 102	% 1.129	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(35)	(0.391)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(64)	(0.706)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	9	0.101	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(9)	(0.096)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	111	1.230	
期中の平均基準価額は、9,058円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2015年7月18日～2016年7月19日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	千口	千円	千口	千円
		527,119	308,688	1,086,854	667,382

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 187	千円 188	千口 1,003	千円 1,007

○利害関係人との取引状況等

(2015年7月18日～2016年7月19日)

利害関係人との取引状況

<世界標準債券ファンド（1年決算型）>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 308	百万円 308	% 100.0	百万円 667	百万円 667	% 100.0
金銭信託	791	791	100.0	791	791	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0

平均保有割合 0.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2015年7月18日～2016年7月19日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2015年7月18日～2016年7月19日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2016年7月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA		2,172,244	1,612,509	811,575	95.7
合 計		2,172,244	1,612,509	811,575	95.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		1,621	805	809

(注) 親投資信託の2016年7月19日現在の受益権総口数は、458,402千口です。

○投資信託財産の構成

(2016年7月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 811,575	% 94.7
マネー・アカウント・マザーファンド	809	0.1
コール・ローン等、その他	44,998	5.2
投資信託財産総額	857,382	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年7月19日現在）

○損益の状況（2015年7月18日～2016年7月19日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	857,382,586
コール・ローン等	32,260,121
投資信託受益証券(評価額)	811,575,860
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	809,056
未収入金	12,737,549
(B) 負債	9,589,403
未払解約金	3,370,806
未払信託報酬	5,145,297
未払利息	31
その他未払費用	1,073,269
(C) 純資産総額(A-B)	847,793,183
元本	1,016,778,501
次期繰越損益金	△ 168,985,318
(D) 受益権総口数	1,016,778,501口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,338円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,589,230,455円、期中追加設定元本額は87,541,305円、期中一部解約元本額は659,993,259円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.8338円です。

(注) 2016年7月19日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は168,985,318円です。

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	139,031,485
受取配当金	139,022,710
受取利息	12,874
支払利息	△ 4,099
(B) 有価証券売買損益	△345,199,731
売買益	92,845,228
売買損	△438,044,959
(C) 信託報酬等	△ 13,551,854
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△219,720,100
(E) 前期繰越損益金	△ 245,750
(F) 追加信託差損益金	50,980,532
(配当等相当額)	(71,235,321)
(売買損益相当額)	(△ 20,254,789)
(G) 計(D+E+F)	△168,985,318
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△168,985,318
追加信託差損益金	50,980,532
(配当等相当額)	(71,235,321)
(売買損益相当額)	(△ 20,254,789)
分配準備積立金	190,549,139
繰越損益金	△410,514,989

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年7月18日～2016年7月19日)は以下の通りです。

項 目	2015年7月18日～ 2016年7月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	125,479,644円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	71,235,321円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	65,069,495円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	261,784,460円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,574円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2015年7月18日から2016年7月19日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA
	ルクセンブルグ籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	ソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると見られる国や地域の通貨建てのソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。 ・通貨選定にあたっては、金利水準を重視し、経済情勢、政治の安定性、市場の流動性なども考慮します。 ・原則として、買付時においてBBB(Baa)格相当以上の格付が付与されているソブリン債券に投資します。ただし、債務履行能力が高いと運用会社が判断した場合は、BB(Ba)格相当以下の国や地域のソブリン債券に投資する場合があります。 ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行ないません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.31%(国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資明細表

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

通貨	額面金額	銘柄	純資産に 占める割合(%)	2016年2月29日現在 (単位: 日本円) 市場価格
		A. 証券取引所に上場している、または他の規制市場で取引されている 譲渡可能証券		
		債券 (98.5%)		
		フィンランド (4.1%)		
		政府債 (4.1%)		
		Finvera OYJ		
USD	10,000,000	2.38% due 06/04/25	2.9%	JPY 1,142,778,395
		Municipality Finance PLC		
MXN	38,000,000	3.13% due 05/20/16	0.6	237,297,961
IDR	30,000,000,000	4.00% due 07/28/17	0.6	231,837,408
		政府債合計		<u>1,611,913,764</u>
		フィンランド合計		<u>1,611,913,764</u>
		ドイツ (7.9%)		
		社債等 (7.9%)		
		KFW		
USD	7,500,000	1.63% due 03/15/21	2.1	849,385,134
USD	5,000,000	2.13% due 08/07/23	1.5	576,360,156
USD	5,000,000	2.38% due 08/25/21	1.5	586,915,255
		Landwirtschaftliche Rentenbank		
USD	2,500,000	1.38% due 10/23/19	0.7	282,675,267
USD	7,430,000	1.88% due 04/17/23	2.1	844,222,153
		社債等合計		<u>3,139,557,965</u>
		ドイツ合計		<u>3,139,557,965</u>
		メキシコ (33.6%)		
		政府債 (33.6%)		
		Mexican Bonos		
MXN	189,100,000	5.00% due 12/11/19	3.0	1,168,902,115
MXN	313,500,000	6.50% due 06/09/22	5.1	2,035,539,051
MXN	608,700,000	7.50% due 06/03/27	10.6	4,193,103,352
MXN	14,050,000	7.75% due 12/14/17	0.2	93,020,731
MXN	293,200,000	7.75% due 05/29/31	5.1	2,037,303,327
MXN	306,800,000	8.00% due 12/07/23	5.5	2,166,874,612
MXN	190,300,000	10.00% due 11/20/36	4.1	1,616,628,501
		政府債合計		<u>13,311,371,689</u>
		メキシコ合計		<u>13,311,371,689</u>
		韓国 (1.2%)		
		政府債 (1.2%)		
		Export-Import Bank of Korea		
IDR	21,000,000,000	8.00% due 05/15/18	0.4	172,297,173
IDR	34,000,000,000	8.40% due 07/06/16	0.8	284,999,322
		政府債合計		<u>457,296,495</u>
		韓国合計		<u>457,296,495</u>
		国際機関 (42.8%)		
		社債等 (42.8%)		
		European Bank for Reconstruction & Development		
IDR	18,000,000,000	4.16% due 06/14/18	0.3	134,451,002
IDR	94,760,000,000	7.25% due 08/22/17	2.0	785,683,318
IDR	129,000,000,000	10.00% due 11/16/18	2.8	1,108,454,396
		European Investment Bank		
IDR	12,000,000,000	4.95% due 03/01/19	0.2	91,261,500
IDR	19,700,000,000	5.20% due 03/01/22	0.4	138,045,702
		Inter-American Development Bank		
USD	5,000,000	2.13% due 11/09/20	1.5	580,524,830
IDR	50,000,000,000	5.80% due 07/26/18	1.0	386,564,577
IDR	56,000,000,000	5.81% due 09/11/18	1.1	425,631,152
IDR	140,000,000,000	7.06% due 07/25/19	2.8	1,090,798,677
IDR	100,000,000,000	7.20% due 11/14/17	2.1	818,638,636
IDR	350,000,000,000	7.20% due 01/22/18	7.2	2,868,785,032
IDR	111,190,000,000	7.35% due 09/12/18	2.3	906,253,606
MXN	97,025,000	7.50% due 12/05/24	1.8	694,972,664

通貨	額面金額	銘柄	純資産に 占める割合(%)	2016年2月29日現在 (単位: 日本円) 市場価格
		債券(98.5%)(続き)		
		国際機関(42.8%)(続き)		
		社債等(42.8%)		
IDR	69,580,000,000	8.00% due 06/11/18	1.5%	JPY 582,257,921
IDR	201,000,000,000	9.50% due 04/15/19	4.3	1,744,949,546
		International Bank for Reconstruction & Development		
USD	1,785,000	1.88% due 03/15/19	0.5	206,545,293
USD	7,500,000	2.13% due 11/01/20	2.2	875,002,453
USD	7,500,000	2.25% due 06/24/21	2.2	879,229,518
USD	10,670,000	2.50% due 11/25/24	3.2	1,267,900,000
USD	3,250,000	7.63% due 01/19/23	1.3	506,147,119
		International Finance Corp.		
USD	4,673,000	1.75% due 09/16/19	1.3	536,933,240
MXN	50,000,000	3.25% due 01/23/17	0.8	310,445,114
		社債等合計		<u>16,939,475,296</u>
		国際機関合計		<u>16,939,475,296</u>
		米国(8.9%)		
		政府債(8.9%)		
		U.S. Treasury Note		
USD	10,000,000	1.50% due 06/30/16	2.9	1,133,175,253
USD	8,974,000	2.38% due 08/15/24	2.7	1,069,798,214
USD	5,385,000	2.50% due 05/15/24	1.6	648,173,762
USD	5,400,000	2.75% due 02/15/24	1.7	661,842,211
		政府債合計		<u>3,512,989,440</u>
		米国合計		<u>3,512,989,440</u>
		債券合計(取得原価 42,077,522,397円)		<u>38,972,604,649</u>
		証券取引所に上場している、または他の規制市場で取引されている譲渡 可能証券合計(取得原価 42,077,522,397円)	98.5%	JPY 38,972,604,649
		負債額を超過する現金およびその他の資産	1.5	591,448,513
		純資産合計	<u>100.0%</u>	<u>JPY 39,564,053,162</u>

通貨表示

IDR	インドネシア・ルピア
JPY	日本円
MXN	メキシコ・ペソ
USD	米ドル

◆損益計算書および純資産変動計算書

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2016年2月29日に
終了した会計年度
(単位：日本円)

投資純利益：

収益：

受取利息

JPY 4,907,162,564

収益合計

4,907,162,564

費用：

投資運用報酬

142,654,559

管理手数料

34,695,206

運用報酬

25,937,193

取引費用

1,681,694

名義書換代理人手数料

2,030,824

保管手数料

49,318,903

年次税

5,930,792

監査報酬

3,839,734

弁護士報酬

88,982

設立費用

76,907

その他費用

1,729,552

費用合計

267,984,346

投資純利益

4,639,178,218

実現および未実現純(損)益：

投資に係る実現純(損)益

(13,045,426,439)

外国為替取引および外国為替先渡契約に係る実現純(損)益

(264,330,023)

投資に係る未実現評価損の純変動額

(4,040,249,218)

外国為替取引における未実現評価損の純変動額

(565,827)

投資に係る実現および未実現純(損)益

(17,350,571,507)

運用による純資産の純減少額

(12,711,393,289)

資本株式取引による純資産の減少額

(16,475,867,671)

受益証券保有者に宣言された分配金

(8,990,577,386)

純資産の減少額合計

(38,177,838,346)

純資産：

期首

77,741,891,508

期末

JPY 39,564,053,162

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2015年10月13日）
 (2014年10月15日～2015年10月13日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%		%	百万円
2期(2011年10月12日)	10,018		0.1		66.8	598
3期(2012年10月12日)	10,027		0.1		78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1		88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1		60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0		62.9	620

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2014年10月14日	10,042		—		60.8
10月末	10,042		0.0		62.0
11月末	10,042		0.0		63.1
12月末	10,042		0.0		80.5
2015年1月末	10,042		0.0		78.1
2月末	10,042		0.0		80.8
3月末	10,042		0.0		80.3
4月末	10,043		0.0		78.0
5月末	10,043		0.0		81.5
6月末	10,043		0.0		74.5
7月末	10,043		0.0		77.7
8月末	10,043		0.0		83.9
9月末	10,043		0.0		59.8
(期 末)					
2015年10月13日	10,043		0.0		62.9

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2014年10月15日～2015年10月13日)

基準価額の推移

期首10,042円の基準価額は、期末に10,043円となり、騰落率は+0.0%となりました。

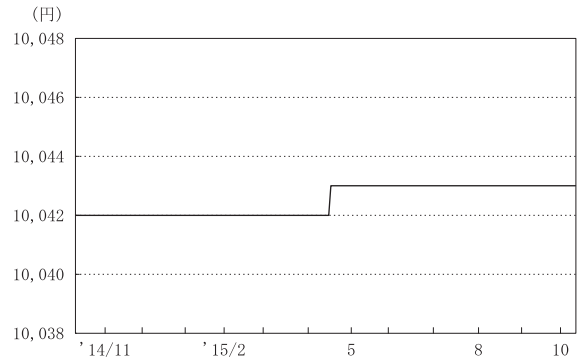
基準価額の変動要因

期中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2014/10/14	2015/04/16	2014/10/15	2015/10/13
10,042円	10,043円	10,042円	10,043円

(国内短期金利市況)

期中、無担保コール翌日物金利は、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期首の-0.01%近辺から、2014年11月下旬にかけては、日銀による積極的なTBの買入れ姿勢などを背景にマイナス金利幅を拡大し、-0.08%台となりました。12月には、日銀がTBの買入れ額を減額したことなどを背景に、0.00%近辺まで上昇しました。その後、2015年8月にかけては、ギリシャの債務問題を背景としたユーロ圏からの資金流入などもあり一時的に-0.07%台まで低下する局面があったものの、概ね0.00%近辺で、もみ合う展開となりました。9月以降は、決算期末を控えた金融機関からのTB需要の増加などを背景に低下基調となり、-0.00%台半ばで期末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年10月15日～2015年10月13日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2014年10月15日～2015年10月13日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	2,950,136	860,151 (2,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

○ 利害関係人との取引状況等

(2014年10月15日～2015年10月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	390,000 (390,000)	389,999 (389,999)	62.9 (62.9)	— (—)	— (—)	— (—)	62.9 (62.9)
合 計	390,000 (390,000)	389,999 (389,999)	62.9 (62.9)	— (—)	— (—)	— (—)	62.9 (62.9)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第487回国庫短期証券	—	10,000	9,999	2015/10/20	
第548回国庫短期証券	—	80,000	79,999	2015/11/2	
第550回国庫短期証券	—	300,000	299,999	2015/11/9	
合 計		390,000	389,999		

○投資信託財産の構成

(2015年10月13日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 389,999	% 62.8		
コール・ローン等、その他	231,217	37.2		
投資信託財産総額	621,216	100.0		

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年10月13日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				621,216,535
	コール・ローン等			231,216,386
	公社債(評価額)			389,999,748
	未収利息			401
(B) 負債				924,526
	未払解約金			924,526
(C) 純資産総額(A-B)				620,292,009
	元本			617,609,609
	次期繰越損益金			2,682,400
(D) 受益権総口数				617,609,609口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,043円

(注) 当ファンドの期首元本額は704,168,192円、期中追加設定元本額は770,941,963円、期中一部解約元本額は857,500,546円です。

(注) 2015年10月13日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	95,233,104円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	1,218,744円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	91,066,091円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	1,177,237円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	61,436,266円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	1,169,358円
・世界標準債券ファンド	57,050,631円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	1,038,295円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	45,960,954円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	1,017,104円
・エマーゼンダ・プラス(マネーボールファンド)	42,822,373円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	997,540円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	36,944,504円	・日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(通貨アルファ戦略コース)	964,921円
・エマーゼンダ・プラス・成長戦略コース	27,913,517円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルリアルコース	804,077円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	26,800,196円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	645,033円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	16,037,711円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドネシアリアルピア・コース	558,564円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	11,824,748円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	402,825円
・グリーン世銀債ファンド	10,609,320円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	300,471円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	8,682,325円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジなし(適格機関投資家向け)	208,022円
・エマーゼンダ・プラス・円戦略コース	6,951,132円	・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	170,873円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	152,998円
・グローバルCOC債ファンド 新興国高金利通貨コース	5,032,492円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり	138,436円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	4,812,948円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース	132,011円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	3,891,723円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	130,355円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	3,807,065円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	110,872円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	3,755,103円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマーゼンダ)	99,902円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	3,722,637円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース	89,495円
・グローバルCOC債ファンド 先進国高金利通貨コース	3,322,114円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	78,627円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	3,099,961円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース	76,608円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	2,880,920円	・日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	72,395円
・グローバルCOC債ファンド 円ヘッジコース	2,880,123円	・インド株式ファンド(毎月分配型)	69,792円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)ブラジルリアル・コース	2,647,116円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	50,519円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	2,646,769円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし	48,171円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,629,139円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSA1)	19,997円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	2,207,568円	・上場インデックスファンド中国日株(ハンセン中国企業株)	19,983円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,984,200円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,938,328円	・上場インデックスファンドCNX Nifty先物(インド株式)	19,983円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,864,936円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバルCOC債ファンド ヘッジなしコース	1,701,206円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし	18,156円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	1,420,675円	・シンガポール高配当株式ファンド(毎月分配型)	10,645円
・日興GSグロース・マーケット・ファンド	1,345,004円	・上場インデックスファンド新興国債券(パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,344,658円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり	8,655円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドルピー・コース	1,293,114円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0043円です。

○損益の状況

(2014年10月15日～2015年10月13日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益		117,450
	受取利息		117,450
(B)	有価証券売買損益		454
	売買益		454
(C)	当期損益金(A+B)		117,904
(D)	前期繰越損益金		2,933,341
(E)	追加信託差損益金		3,269,014
(F)	解約差損益金		△3,637,859
(G)	計(C+D+E+F)		2,682,400
	次期繰越損益金(G)		2,682,400

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2014年10月15日から2015年10月13日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2013年6月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月1日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月1日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。(第21条の2、第38条、第43条、第44条)
- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2015年1月16日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)